

2019年2月17日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

祈 禱

賛 美 聖歌232番「つみとがをゆるされ」
(Never Worry) (来たれイエスを)

十 戒

聖 書 ルカによる福音書 19章1～10節(p.121)

音 楽 Wings

メッセージ 「何からの救いか? (後編)」 倉知契副牧師

賛 美 「罪の深みにおぼるる我」(聖歌442番・献金)

頌 栄 「主の祈り」

祝 禱

聖餐式

「人の子がきたのは、

失われたものを尋ね出して救うためである。」

(ルカ十九の十)

【町田ニュース】

- ・ 先週の「ほっとママの会」が祝されました(大人13人、小人7人)。
- ・ 東京カルバリーは夕方5時から。説教は小林副牧師・大川牧師。
- ・ 火曜日、大和の**早天祈禱会**で大塚師が説教(Y)。お祈りください。
- ・ **早天祈禱会**は朝6時。月、火、水、木、金、土。マルコ福音書から恵まれています。火曜日は大和の早天をライブ中継します。来れない方は大和カルバリーのHPからのYoutubeでお守りください。
- ・ 祈禱会を大切に(Y)。説教は水曜夜が丸藤伝道師、木曜朝は久保田副牧師、金曜夜は大野M伝道師。
- ・ 来週11時は「**オープン礼拝&美味しいあったかうどんパーティー**」。説教は大塚師。お誘いしましょう。国際飢餓対策への募金を集めます。
- ・ 今週も宿題(祝大)にそって聖書を読みましょう。



畑の中の宝物

「サタンは、信仰が最も弱々しい信徒がひざまずく時、震えあがる(Satan trembles when he sees the weakest saint upon their knees.)。」「(ウイリアム・クーパー)という有名な言葉があります。

皆様は、祈る時どのような姿勢で祈るでしょうか。形は関係ない、中身が重要だと言われるかもしれませんが。確かに祈りは心ですから中身が重要です。しかし、形は心とつながり、形は心の表現となると同様に、形が心を規定する側面もあることを覚えましょう。

私たちは16世紀の宗教改革直前に開発された長椅子によって、椅子に座り礼拝し、座ったまま祈るようになりました。しかし、それまでは礼拝堂に椅子はなかったのです。椅子に座って祈るようになったのは近代になってからです。

旧約・新約聖書を見ると、「立つ」「ひざまずく」「ひれ伏す」というのが祈りの姿勢でした。イエス様でさえそうでした。

ユダヤ教も東方教会も、現在でも祈りは立ってなされます。手のひらを上に向け、手を上にさしのべて祈ったり、胸の前に広げて祈ります。それは父なる神の前に出ていることを表す姿勢なのです。

西方教会では、ひざまずいて祈ることを大切にします。ひざまずく姿勢は懺悔の時だけでなく、謙遜、服従を表す姿勢なのです。

イスラム教では、現在も祈りの動作の中に地に頭をつけひれ伏して祈る動作が入っています。私は主のしもべですと、畏敬と降伏を表す姿勢なのです。

椅子に座って礼拝を持ち、祈ることは、長時間教育的説教がなされるプロテスタント教会には都合の良いものでした。足の悪い方、高齢者に対する配慮にもなりました。悪いわけではありませんが、**本来の祈りの姿勢を回復しましょう。**様々な祈りの姿勢を時に応じて用いることで、霊性は深められ祈りは豊かになります。早天では色んな姿勢で祈りましょう。論より証拠、感じ取ってください。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:マルコ1章～5章 Bコース:レビ記24章～民数記10章